

事業 41	方針等 区分	(方針5) ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策10) ものづくり産業と教育機関の連携強化		平成24年度			
	事業名	高校生のインターンシップ事業		予算額	1,125千円		
				決算額	483千円		
	事業概要	<p>学生が在学中に職業体験を行うインターンシップ制度の普及・啓発に取り組めます。</p>		取組状況 (9/1現在)	<p>■対象 市内高校の2年生</p> <p>■ジュニアインターンシップの既実施数 ①実施高校数 5校 ②実施生徒数 19人</p> <p>■ジュニアインターンシップ受入事業所の新規開拓数 新規受入可能事業所数 13事業所</p> <p>■今後の予定 10～11月、1～2月にかけて5校実施予定。 ただし、実施人数未定。</p> <p>■予算執行予定額 ジュニアインターンシップ推進業務委託料 483,000円</p>		
		補足事項	<p>高校生の職業意識を高めるため、ジュニアインターンシップ受入事業所の新規開拓を行うとともに、実施期間や職種を希望校(生徒)が選択できるように充実した内容にしていきます。</p>		進捗率	9月1日現在 実施生徒数 19人 21.1 (%)	
					3月31日現在 (参加者数) 86人 95.6 (%)		
	成果目標	参加者 90人/3年		事業評価	<p>■ジュニアインターンシップ実施数 ①実施高校数 8校 ②実施生徒数 86人</p> <p>■ジュニアインターンシップ受入事業所 70事業所</p> <p>■ジュニアインターンシップ受入事業所の新規開拓数 51事業所</p> <p>■ジュニアインターンシップ説明会 1校実施</p> <p>■ジュニアインターンシップ実施の可否確認 市内高校全校</p>		
	総合計画の 位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	5 すぐれた能力と意欲ある人材の育成・支援		事業結果		
		大施策	(2) 意欲ある人材の地域における就業支援				
		中施策	①企業と人材のマッチング				
産業振興 プランの 位置付け	基本方向	4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等	<p>平成24年度の参加生徒数は86名で、目標を達成できた。 また、インターンシップ生と受け入れた企業の双方にアンケートを実施し、自己評価と他者評価を見比べる手法を取り入れ、それらをインターンシップ生にフィードバックすることで、高校生の就業意識向上に役立った。</p> <p>今年度未実施の市内高校22校に対して来年度の実施予定調査を行うとともに、ジュニアインターンシップ説明会を実施して、積極的な利用促進を図った。次年度は、今年度の手法を活かし、より多くの高校生の参加を促したい。</p>		
	基本方針	(4) 次代を担う人づくり					
	基本施策	②職業人としての意識・能力の涵養					
担当課等	経済局商工部 商業労政課 雇用労働政策室		その他 (特記事項)				

事業 42	方針等 区分	(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成24年度		
	事業名	体験型観光プログラムの開発と誘客の推進		予算額	4,350千円	
				決算額	4,344千円	
	事業概要	地域産業を生かし、茶摘み、森林産業、漁業、伝統工芸品づくりなど、体験観光プログラムを開発するとともに、旅行代理店を通じて海外や首都圏等にセールスし、教育旅行や観光客の増加を図ります。		取組状況	現況	<p>■静岡型体験観光推進事業補助金による支援 静岡市内における体験教育旅行を受け入れている任意団体「しずおか体験教育旅行」の活動に対して助成を行う。 (平成24年度予算額 4,050千円)</p> <p>「しずおか体験教育旅行」は、実際に担当の先生方に、本市ならではの体験プログラムを体験していただくモニターツアーや県内外における誘致活動を行ったほか、教育旅行の受付窓口として、各種体験プログラムの取りまとめなど、学校側との調整等を行っている。</p> <p>■誘致活動の実施 しずおか体験教育旅行や静岡観光コンベンション協会と共働して国内外へ教育旅行の誘致活動を実施している(平成24年度予算額 300千円)</p> <p>・しずおか体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会等と共同で、首都圏の小中学校への訪問・誘致活動や台湾での現地商談会へ参加し、本市の体験プログラムのPRを実施した。</p>
		補足事項				9月1日現在
	成果目標	首都圏や海外からの教育旅行の誘致推進 ・訪日教育旅行誘致件数 8件/年(平成22年度実績) ・体験プログラム実施数 3,830件/H22~H26計		進捗率	3月31日現在	<p>①訪日教育旅行誘致件数 7件 (内訳)中国3件、台湾3件、その他1件 87.5 (%)</p> <p>②体験プログラム実施数 2,679件/H22~24 69.9</p>
	総合計画の位置付け (分野別)IV産業・経済	政策方針	3 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化		事業評価	<p>【市】</p> <p>①しずおか体験教育旅行に対して補助金を支出した。 ②しずおか体験教育旅行、静岡観光コンベンション協会と共同で誘致宣伝活動を実施した。</p> <p>【しずおか体験教育旅行】</p> <p>平成23年度に引き続き、震災の影響により激減した体験教育旅行、再度呼び戻すことを重点に、下記の宣伝・誘致活動や体験プログラムの充実に向けた取り組み等を行った。</p> <p>・来静を予定・検討している教育関係者による実地調査への同行 4月26~27日(八王子市内小学校、教育委員会から34名参加)</p> <p>・首都圏等の学校の先生や教育関係者、旅行会社を対象としたモニターツアー 7月27~28日(お茶体験、海洋体験等) 10月27~28日(砂金採り、わさび漬け作り体験等)</p> <p>・首都圏等への学校訪問・誘致活動 11月27~29日 岐阜県内の中学校訪問 12月4~6日 八王子市・横浜市内の小中学校等訪問 12月11~13日 横浜市内の小中学校訪問</p> <p>・台湾現地商談会への参加及び現地旅行会社訪問 6月13~15日 台北・台南・高雄の3都市で実施</p> <p>・台湾教育旅行関係者招請事業における商談会(福岡) 3月8日 台湾教育旅行関係者約60名</p>
		大施策	(1)戦力的な観光振興による国際競争力のある観光地			
		中施策	⑤様々な主体による静岡ブランドの構築と国内外への発信			
	産業振興プランの位置付け	基本方針	1 まちを「楽しむ」産業の振興		<p>次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等</p> <p>震災以降、津波への不安等から本市を訪れる教育旅行は激減した。教育旅行は学校単位で行われるという性質上、一度行先が変更されるとある程度固定化されてしまうため、既に行先を変更した首都圏等の学校に対しては継続して誘致活動を行っていくとともに、新たに、これまで来静の少ない関西圏への誘致活動も並行して行っていく。</p>	
基本方針		(1)地域資源の観光活用				
基本施策		①体験型観光の振興				
担当課等	経済局商工部 観光・シティプロモーション課 観光振興担当		その他(特記事項)	「体験型観光プログラムの開発」については事業43での取り組みと密接な関わりがある。		

事業 43	方針等 区分	(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成24年度		
	事業名	産業観光等のニューツーリズム の推進		予算額	0千円	
				決算額	0千円	
	事業概要	お茶や伝統工芸などの豊富な産業資源を活用し、産業・体験型観光を活性化し、他地域との差別化を行い観光交流客の増加を図ります。		取組状況	現況	■産業観光の推進 「感動」や「体験」などの観光トレンドを追い風にして、地域の強みである産業資源を活用した観光メニューの開発と観光客受入の準備を推進する。
		補足事項				
	成果目標	関係団体等との連携強化による体験プログラムの開発及び充実		進捗率	9月1日 現在	
					3月31日 現在	
	総合計画の 位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針	3 地域の魅力を活かした観光・交流産業の高度化		事業 評価	■静岡県中部地区観光協議会 静岡県中部地区観光協議会において、周辺市町が連携した観光メニューの開発を進めていくことについて、中部5市市長会で合意した。 これを受け、周辺市町とともに、産業観光等をテーマとした工場見学やお茶の体験などの観光メニュー開発に向けて受入先の洗い出し等の検討を始めた。  ■その他 静岡観光コンベンション協会とともに、JNTOの台湾インセンティブ旅行キーパーソン招請事業で、漁業や農業体験等のプログラムを含む受入を行った。また、タイインセンティブ旅行向けの情報提供にあたり、工場見学等の受入可能施設の状況をヒアリングし、セールスツールを作成した。  (事業名) 台湾インセンティブ旅行キーパーソン招請事業 (実施日) 10月12～14日 (概要) 漁船乗船、お茶摘み、まぐろ冷凍庫体験等
		大施策	(1) 戦力的な観光振興による国際競争力のある観光地			
		中施策	⑤様々な主体による静岡ブランドの構築と国内外への発信			
産業振興 プランの 位置付け	基本方向	1 まちを「楽しむ」産業の振興		次年度 に向けた 改善点・ 目標の 未達成 理由等	静岡県中部地区観光協議会に3つのワーキンググループを置き、その1つとして、産業観光をテーマとしたテーマ別ツーリズムの推進体制を強化する。	
	基本方針	(1) 地域資源の観光活用				
	基本施策	①体験型観光の振興				
担当課等	経済局商工部 観光・シティプロモーション課 観光振興担当		その他 (特記事項)			

事業 44	方針等 区分	(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成24年度		
	事業名	経済セミナー等の開催		予算額	指定管理料 50,176千円の一部	
				決算額	指定管理料 50,176千円の一部	
	事業概要	<p>クリエイター支援センター等の本市の産業支援施設において、国内外の一流の産業人等によるセミナー、ワークショップ等を開催します。</p>		取組状況 (9/1現在)	<p>(静岡市クリエイター支援センター)</p> <p>【セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>onedotzero (ワンドットゼロ) セミナーの実施 6/9 プレゼンター: Reuben Sutherland (イギリス) 6/10 プレゼンター: 横部正樹氏 (YKBX)</li> </ul> <p>【展覧会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>しりあがり寿の「いろいろやってるら」 ①しりあがり寿 歴史資料館 (おいおい常設かよ) ②「しりあがり寿 図書館」</li> <li>swich~岡本光市 遊びのデザイン~ ・十八番 など (今後の予定)</li> <li>NCC Shizuoka (継続開催中) ・NCC展覧会</li> <li>DOTMOV</li> <li>子どもアニメワークショップ (夏休み分は終了、次回冬休み)</li> <li>マーケティングセミナー (産学交流センター共催) 2回</li> </ul>	
					補足事項	
	3月31日現在	(セミナー等開催数) 5回 55.6 (%)				
	成果目標	セミナー等開催数 9回/3年		事業評価	<p>(静岡市クリエイター支援センター)</p> <p>【セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>onedotzero (ワンドットゼロ) セミナーの実施 6/9 プレゼンター: Reuben Sutherland (イギリス) 6/10 プレゼンター: 横部正樹氏 (YKBX)</li> <li>子どもアニメワークショップ (夏・冬)</li> <li>マーケティングセミナー (産学交流センター共催) 1回</li> </ul> <p>【展覧会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>しりあがり寿の「いろいろやってるら」 ①しりあがり寿 歴史資料館 (おいおい常設かよ) ②「しりあがり寿 図書館」</li> <li>swich~岡本光市 遊びのデザイン~ ・十八番</li> <li>NCC Shizuoka</li> <li>NCC展覧会</li> <li>DOTMOV</li> <li>子どもワークショップアニメ上映会</li> <li>小学生オリキャラ祭り!</li> <li>CCC入居者展</li> </ul>	
	総合計画の位置付け (分野別) IV産業・経済	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興プラン位置付け	基本方向		次年度に向けた改善点・目標の未達成理由等			
	基本方針					
	基本施策					
担当課等	経済局商工部 産業政策課 新産業担当		その他 (特記事項)	・アトサキセブンにおいて、子どもアニメワークショップで作成したアニメを上映		

事業 45	方針等 区分	(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成24年度		
	事業名	首都圏におけるプロモーションの強化 (特産品東京展示会)		予算額	5,715千円	
				決算額	5,616千円	
	事業概要	首都圏において、本市の特産品展示販売及び 実演等を実施し、本市の地場産業のPRを 行います。		取 組 状 況  (9/1現在)	<p>○9月6日～11日までの6日間、東京都台東区上野2K540 (JR山手線御徒町駅～秋葉原駅間高架下商業施設)において 「静岡市伝統工芸品展」(駿河の手作り市、木と下駄と漆器と 竹と染めと蒔絵と～静岡市の伝統工芸を受け継ぐクラフトマン たち)と銘打ち、静岡市伝統工芸技術秀士の作品展示と、その 技術を受け継ぐ若手職人の作品展示・販売会を開催する予定。 今年は例年実施していた展示会場が移転したため、新たに会場 を模索して、展示会の開催となった。</p> <p>○10月17日～19日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコ ーナーにおいて、「静岡市の特産品 東京展示会」開催し、工 芸品、お茶などの加工食品、水産加工品等の販売を予定してい る。今年は例年出展している、家具、駿河漆器、駿河指物等の 工芸品だけでなく、『ホビーのまち静岡』のPRを推進するため プラモデルの展示も企画している。その他、静岡市ブランド認 証「しずおか葵プレミアム」に認証された商品の展示と販売も 予定している。</p>	
					補 足 事 項	
	3月31日 現在	(実施回数)2回 33.3 (%)				
	成果目標	6回/3年 地場産品のPR及び静岡市ブランドの 創出・認知度の強化		事 業 結 果	<p>○9月6日～11日までの6日間、東京都台東区上野2K540 (JR山手線御徒町駅～秋葉原駅間高架下商業施設)において 「静岡市伝統工芸品展」(駿河の手作り市、木と下駄と漆器と 竹と染めと蒔絵と～静岡市の伝統工芸を受け継ぐクラフトマン たち)と銘打ち、静岡市伝統工芸技術秀士の作品展示と、その 技術を受け継ぐ若手職人の作品展示・販売会を開催した。また 竹子筋細工のワークショップも開催し、体験者の好評を得た。 ★期間中の来場者数 約6,000人 ★期間中の売上額 約630千円</p> <p>○10月17日～19日までの3日間、東京新宿駅西口広場イベントコ ーナーにおいて、「静岡市の特産品 東京展示会」開催し、工 芸品、お茶などの加工食品、水産加工品等の販売を行った。今 年は例年出展している、家具、駿河漆器、駿河指物等の工芸品 だけでなく、『ホビーのまち静岡』のPRを推進するため、プラ モデルの展示も企画実施した。その他、静岡市ブランド認証「 しずおか葵プレミアム」に認証された商品の展示と販売も実施 した。 ★期間中の来場者数 約12,000人 ★期間中の売上額 約5,083千円</p>	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針			事 業 評 価 等	(事務担当 記載項目) 所属部会 からの 意見及び 指摘事項
		大 施 策				
		中 施 策				
産業振興 のプラン 位置付け	基本 方向	2 生活の質を高める産業の振興	事 業 評 価 等	(事務担当 記載項目) 所属部会 からの 意見及び 指摘事項	・ その場での販売に結び付き難い商品もあるが、情報発信の場として、 今後有効活用していければよい。 ・ 「静岡市＝ものづくりの市」というブランドを確立できるようなPR を行ってほしい。	
	基本 方針	(1)マーケットを重視した事業展開 の促進				
	基本 施策	③販路開拓支援				
所属部会	■販路開拓部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 地場産業担当		事 業 評 価 等	(事業担当 記載事項) 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	静岡市の地場産品を日本の首都東京で展示販売するという初期の目的 は、前年並みの成果を挙げたことで達成できたと考えられる。また、今 年度についてはプラモデル業界の協力も得て展示が出来たことは良かった。 一部に販売を望む意見があり次回に実施できるかは、業界の意気込 みによる。葵プレミアムの出展も年々増加傾向にあるので、会場小間の 割り振りに問題が生じる不安がある。	
事業 担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業担当					

事業 46	方針等 区分	(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成24年度		
	事業名	首都圏におけるプロモーションの強化 (ホビーのまち)		予算額	0千円	
				決算額	0千円	
	事業概要	「ホビーのまち静岡」を首都圏等に向け発信することにより、静岡市のブランド力を高め、更なる購買層の拡大と業界振興につなげます。		取 組 状 況	現 況 (9/1現在)	「静岡市の特産品東京展示会」に「模型の世界首都しずおかプラモデル展」を同時開催の予定で、委託先の静岡特産工業協会と展示方法等について打ち合わせを行い、また静岡模型教材協同組合に協力の確約を得た。
	3月31日 現在	(実施回数) 1回 33.3 (%)				
	成果目標	PR事業の強化 3回/3年		事 業 結 果	○10月17日(水)～19日(金)の3日間に、東京新宿駅西口広場イベントコーナーにて開催した、「静岡市の特産品東京展示会」に併せて「模型の世界首都しずおかプラモデル展」を開催した。静岡模型教材協同組合の協力の下、加盟する模型メーカー3社からプラモデルを借り入れショーケースで展示を行うとともに、静岡ホビースクエア企画展のチラシを配布した。また、会場内で静岡ホビーショー及びクリスマスフェスタのビデオを上映し「ホビーのまち静岡」をPRした。	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針	大 施 策			○会場アンケート結果(有効回答数600件) ・静岡市が「ホビーのまち静岡」として情報発信していること ①知っている191人 ②知らない389人 ③無回答20人
		中 施 策				
	産業振興 のプラン 位置付け	基本 方 向	2 生活の質を高める産業の振興	事 業 評 価 等	〔 事務担当 記載項目 〕 所属部会 からの 意見及び 指摘事項	東京展示会におけるプラモデル展示コーナーに、もっと立ち寄り人が増えるようにプレゼンテーションの方法に工夫が必要。
基本 方 針		(1)マーケットを重視した事業展開の促進				
基本 施 策		③販路開拓支援				
所属部会	■販路開拓部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 地場産業担当		〔 事業担当 記載事項 〕	改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	展示スペースとの兼ね合いを回りながら、展示する模型の質や量及び会場で配布するパンフレットの充実と模型の販売について、静岡模型協同組合と検討して行く。	
事業 担当課等	経済局商工部 地域産業課 工業支援担当					

事業 47	方針等 区分	(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成24年度			
	事業名	静岡市ブランド認証制度の拡充		予算額	5,546 千円		
				決算額	4,300 千円		
	事業概要	本市ならではの魅力ある商品や製品を静岡市ブランドとして認証し、広くPRすることで、本市の認知度を高めシティプロモーションの推進を図ります。また、これを機に新たな商品や製品の開発を促進するなどの拡充に取り組みます。		取 組 状 況  (9/1現在)	◆新規認証関係 9月1日現在、認証申請の受付期間中であるため、今後の予定を記載 ①認証申請期間 8月1日～9月28日 ②書類審査 10月31日(ブランド認証専門委員会開催) ③プレゼン審査 11月26～27日(ブランド認証専門委員会開催) ④申請見込件数 15件  ◆展示販売会関係(今年度は5会場予定) ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」 5月31日～6月6日 ・エスパルスドリームプラザ展示販売会 7月27～29日		
					補 足 事 項	進 捗 率	9月1日 現在
	3月31日 現在	(認証品数) 10回 (展示即売会数) 5回	50.0 33.3 (%)				
	成果目標	平成24～25年度 20品認証 展示即売会 15回/3年に拡充		事 業 結 果	◆新規認証関係 ①認証申請期間 8月1日～9月28日 ②書類審査 10月31日(ブランド認証専門委員会開催) ③プレゼン審査 11月26～27日(ブランド認証専門委員会開催) ④申請件数 33件 ⑤新規認証件数 10件  ◆展示販売会関係 ・駿府楽市「しずおか葵プレミアム展」 5月31日～6月6日 ・エスパルスドリームプラザ展示販売会 7月27～29日 ・静岡市の特産品 東京展示会「しずおか葵プレミアム展」 10月17～19日 ・鞠子楽市「しずおか葵プレミアム展」1月24日～2月5日 ・足柄サービスイリア「しずおか葵プレミアム展」3月中旬		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策 方針	IV産業・経済 1 都市型産業集積を目指した産業構造 の知的高度化		事 業 評 価 等	◆一般審査員(これは静岡のものだねがわかる程度)をもっと増やし投票してもらったらどうか。  ◆他薦による商品を探しメーカーにコンタクトしたらどうか。  ◆「静岡市ブランド」とは、何が静岡市らしいものなのでしょうか	
		大 施 策	(2)地域産業の活力強化				
		中 施 策	②地域資源を活用したブランドの構築・ 強化				
産業振興 のブラン 位置付け	基本 方向	1 まちを「楽しむ」産業の振興	事 業 評 価 等	◆静岡市ブランドの認知度がまだ低いので、従来のPR方法だけでなく、多様な機会を活用して、より効果的な情報発信が必要である。  ◆認証品の展示場所や展示方法、販売方法などについて静岡市ブランドがもっと評価されるプロモーションが必要である。  ◆認証品数も増えて、各認証品の顧客ターゲット、流通形態、事業者の販売方針にも多様性があることから、情報発信や展示会への出品等も個々の認証品にあった、きめ細やかな対応が必要である。			
	基本 方針	(2)全国・海外への積極的なプロモーション展開					
	基本 施策	①市民が誇れる静岡ブランドの確立					
所属部会	■伝統工芸創造部会 部会員 ものづくり審議会委員5人 ■事務担当 地場産業担当		事 業 担 当 課 等	◆静岡市ブランドの認知度がまだ低いので、従来のPR方法だけでなく、多様な機会を活用して、より効果的な情報発信が必要である。  ◆認証品の展示場所や展示方法、販売方法などについて静岡市ブランドがもっと評価されるプロモーションが必要である。  ◆認証品数も増えて、各認証品の顧客ターゲット、流通形態、事業者の販売方針にも多様性があることから、情報発信や展示会への出品等も個々の認証品にあった、きめ細やかな対応が必要である。			
事業 担当課等	経済局商工部 地域産業課 地場産業担当						

事業 48	方針等 区分	(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成24年度			
	事業名	市民向けものづくり体験・学習イベント の開催		予算額	5,970千円		
				決算額	5,654千円		
	事業概要	市内ものづくり事業者等の協力のもと、広く 市民に向けて市内のものづくり産業に関する 学習機会として、体験型等のイベントを開催し ます。		取 組 状 況  現 況 (9/1現在)	市内の小学校4年生が社会科事業の一環として「駿府匠宿」 で創作体験する場合申請により、その利用に要する費用の一 部を市が支援している。 補助金額は児童一人最大1,500円、現在51校の申請があ り、10月以降実施予定。		
					補 足 事 項	進 捗 率	9月1日 現在
	3月31日 現在	(参加者数)134人(校)	44.7(%)				
	成果目標	参加者 300人/3年		事業結果	<p>■平成24年度地品体験学習事業実績 参加学校数：51校、参加児童数：3,836人 例年通り、小学校の授業を通して、市民にもものづくりに対 する関心と理解を深めることができたと考えられる。</p> <p>■さらなる市民向けものづくり体験の機会としては、 ○静岡工芸青空市（主催：財団法人静岡産業振興協会） 本市伝統工芸品の物販会場において、ワークショップ形 式で簡易な座椅子製作を実施。木材加工を通じて、もの づくりに親しむ場を提供した。（参加者数）2人 ○産業フェアしずおか2012で駿府匠宿がサドブラスト等の 体験コーナーを実施した（参加者数）81人 市内ものづくり事業者協力のもと、市民向けものづくり 体験型のイベントが開催された。（合計83人）</p>		
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針			事業 評 価 等  (事務担当 記載項目) 所属部会 からの 意見及び 指摘事項	<p>■地場産品体験学習事業の継続 本事業では、市内小学校全90校の約56%の学校が申請 し、市内の小学4年生全5,988人(24.5.1現在静岡市 教育委員会調べ)のうち、約64%の児童が地場産品のも のづくりを体験したことになった。また、実施した学校から 寄せられた学習成果や感想で、普段接する機会のない職人 さんの話や技の見学、実際の竹ひご作りを体験させてくれ ることも好評であることから、市民へ広く地場産業の振興 ・PRを図るため、さらなる事業の継続が求められる。</p> <p>■その他の市民向けものづくり体験イベントの開催</p>	
		大施策				基本 方 針	
		中施策					
産業振興 のプラン 位置付け	基本方針		所属部会 記載事項	<p>◆体験学習事業 市内小学校への周知に努め、来年度以降も引き続いて、地場産品に関 する理解を促進させるように、市内小学校への周知に努めていきます。</p> <p>◆市民向けものづくり体験機会 民間を中心に実施される事業については、活動実績を広報紙に掲載する ほか、事業の後援にも積極的に取り組み、地域で繰り広げられる活動の支 援に努めていきます。</p>			
	基本方針			改善点 ・ 目標の 未達成 理由等			
	基本施策						
所属部会	<p>■PR促進部会 部会員 ものづくり審議会委員3人 ■事務担当 産業経営担当</p>						
事業 担当課等	<p>経済局商工部 地域産業課 地場産業担当</p>						



事業 49	方針等 区分	(方針5)ものづくり産業への理解促進と情報発信 (施策11)ものづくり創造都市に関する情報発信と理解促進		平成24年度		
	事業名	ものづくり現場企業見学会の開催		予算額	0千円	
				決算額	0千円	
	事業概要	市内ものづくり事業者等の協力のもと、市民が市内におけるものづくり現場を見学する機会を通じて、ものづくり産業への理解促進に取り組めます。		取組 状況 現況 (9/1現在)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報収集、整理 市内のものづくり現場見学をツールとした既存事業（観光及び雇用）の実施状況（内容、経緯、結果、今後の方向性）を把握する。</li> </ul> <方法> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎資料収集（ホームページ、書籍、等）</li> <li>・関連事業の実施団体へのヒアリング</li> <li>・工場見学会等への参加 日本軽金属株式会社（蒲原製造所） 日立アプライアンス株式会社（清水事業所） 株式会社巴川製紙所（静岡事業所）</li> </ul>	
					補足事項	進捗率
				3月31日現在 (参加者数)	0(%)	
	成果目標	参加者 300人/3年		事業 結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●既存事業の情報収集、整理 市内のものづくり現場見学をツールとした既存事業（観光及び雇用）の実施状況（内容、経緯、結果、今後の方向性等）を把握する。</li> <li>●関連事業の情報収集、整理 市内の他目的も含めた企業との連携事業の情報を収集し、PR促進につながる事業の実施状況（内容、経緯、効果、今後の方向性等）を整理する。</li> </ul>	
	総合計画 の 位置付け (分野別)	政策方針				
		大施策				
		中施策				
産業振興 のプラン 位置付け	基本方向			事業 評価 等 (事務担当 記載項目) 所属部会 からの 意見及び 指摘事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ものづくり現場企業見学会における協力企業の対象 中小企業や個人事業者においては、「企業見学会」という手法では対応することが難しい側面がある。ビデオの作成など他の手法についても検討し、多くの方に見てもらえるようにすることも必要ではないか。</li> </ul>	
	基本方針					
	基本施策					
所属部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>■PR促進部会 部会員 ものづくり審議会委員3人</li> <li>■事務担当 産業経営担当</li> </ul>		(事業担当 記載事項) 改善点 ・ 目標の 未達成 理由等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆既存類似事業を参考にしながら、市の役割を明確にし、①事業スキーム作成、②対象者、協力企業の抽出の順に、実施に向け取り組んでまいります。その際に、伝統工芸などの個人事業者が協力しやすい方法の検討や、他のPR手法での補完の検討についても進めていきます。</li> </ul>		
事業 担当課等	経済局商工部 地域産業課 産業経営担当					